

事務事業名		日本一さくらのまちづくり事業		所属部	産業観光部	所属課	観光振興課
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	観光振興グループ	課長名	高橋 司
	施策名	〈36〉観光の振興		担当者名	福田 遥可	電話番号	0854-40-1054 (内線) 2432
	目的・対象	A)市外の人 B)市民	意図	A)市内で観光を楽しんでもらい、消費してもらう。B)観光情報を発信する。			
	基本事業	〈105〉観光資源の充実		予算科目	0:1:3:5:0:1 0:5:1:5:0:3	大事業名	観光振興総務管理事業 中事業名 日本一さくらのまちづくり事業
目的・対象	観光客	意図	魅力ある観光商品を購入・消費する。				

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
雲南市の景観 観光客	雲南市の花である「桜」の保護育成活動により美しい景観を守り、創造する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	日本さくら名所100選「斐伊川堤防桜並木」を有し、市の花が桜である雲南市において、市内各地の桜は、かけがえのない共有の財産であるとともに、重要な観光資源である。市民が桜を愛し、桜の植栽・保育を通じて活力あるまちづくりを目指すべく、桜守(桜の管理をおこなう専門職)の配置等をおこなう。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①桜守公用軽トラック保守管理 ②さくらまつりPR(ポスター及びチラシ作成等) ③桜に関する問合せ、視察受入対応 ④桜保育管理(外部委託) ⑤雲南市さくらのまち観光振興協議会との連携	令和2年度から雲南市さくらの会で担っていた桜の管理業務を市役所観光振興課が引き継ぎ、委託先と市が直接契約を結ぶこととなった。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 桜本数	本	109,160	109,175	109,190	109,205
イ 観光入込客数	千人	1,457	986	934	1,085
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
【需用費】 481千円 管理資材、燃料費、印刷費等	財源内訳	国庫支出金	千円			
【役務費】 88千円 郵券料、共済掛金等		県支出金	千円			
【管理業務委託料】 11,600千円		地方債	千円			
【賠償金】 100千円		その他	千円		11,634	12,269
【財源:木次さくらのまちづくり基金繰入金】		一般財源	千円	771		
	事業費計	千円	771	11,634	12,269	12,904

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	桜まつりの入込客数については、昨年度より約2割強増加しており、多くの地元の方々、観光客に観賞してもらえる機会となった。
② 事業実施するうえでの課題	雲南市全域へ桜のまちづくりを浸透させていくために、特に財源の面で課題も多く、検討が必要である。また、桜の保育管理を行う桜守(桜守補助員)が不足しているため、人材育成・確保が必要。
③ 課題解決に向けた改革改善等	雲南市全域に桜のまちづくりを浸透させるため、対象を市民、市外というように的を絞ってプロモーション展開をしていく必要がある。しかし、他業務との兼務の中で、十分に戦略を練る余裕が無く、業務改善につながらない点が課題である。桜守(桜守補助員)の条件等の見直しを検討しつつ、募集を引き続き行う。